

2026 年 7 月

軽井沢プリンスホテルスキー場
「ピックルボール」体験アクティビティを初導入
テニスの聖地・軽井沢で次世代型リゾート体験を提案

【期間】2026 年 8 月 1 日(土)より順次営業開始

軽井沢プリンスホテルスキー場(所在地:長野県北佐久郡軽井沢町 総支配人:影山裕子)では、屋内施設を活用した体験アクティビティ「ピックルボール」を 2026 年 8 月 1 日(土)より順次導入いたします。

「ピックルボール」はパドルと呼ばれるラケットを使用し、穴あきボールを打ち合う、テニス・バドミントン・卓球などの要素を組み合わせた新感覚のラケットスポーツです。

本取り組みでは、屋内にコートを設置することで、天候に左右されことなく快適にお楽しみいただける環境を整備します。滞在中の新たな楽しみとして宿泊者の滞在価値向上を図るとともに、より幅広い世代に向けた新しいリゾートスポーツ体験の提供を目指します。

■軽井沢プリンスホテルスキー場で導入する背景

軽井沢は明治時代より外国人宣教師の避暑地として発展するとともに、1890 年代には軽井沢で初めてのテニスコートが設置され、日本最古級のテニストーナメントが開催されるなど、文化・競技の両面において「テニスの聖地」として避暑地での過ごし方を発展させてきました。軽井沢プリンスホテルにおいても、敷地内に多数のテニスコートを有し、豊かな自然環境と冷涼な気候のもとでテニスを楽しむ体験は、軽井沢ならではの滞在スタイルとして多くのお客さまに親しまれてきました。このテニスリゾートとしての背景に加え、既存施設を有効活用しながら導入が可能なピックルボールの特徴を活かし、軽井沢の歴史に支えられたフィールドに新たなスポーツカルチャーを融合することで、軽井沢ならではの次世代型リゾート体験を提案してまいります。



写真は屋内コートのイメージです



穴あきボールとラケット

■ピックルボールとは

テニスコートの約 3 分の 1 の広さのコートで、パドルと呼ばれるラケットを使用し、穴のあいたボールを打ち合うアメリカ発祥のラケットスポーツです。近年では幅広い世代に親しまれるスポーツとして、主にアメリカを中心に人気を拡大しています。日本では 2024 年時点で約 5,000 人とされていた競技人口から、クラブ数の増加や国際大会の開催など、競技環境の整備が進み、注目が高まっています。ルールがシンプルでラリーが続きやすく、年齢や経験を問わず楽しめます。

ピックルボール営業概要

期間:2026 年 8 月 1 日(土) ~ 11 月 23 日(月・祝) 予定 ※2026 年 9 月中旬より屋外コート営業開始予定
時間:8:00A.M. ~ 5:00P.M.
料金:1 面 1 時間 ¥5,000
内容:ピックルボールコート使用料、パドル、ボール
場所:軽井沢プリンスホテルスキー場 アクティビティホール
URL:<https://www.princehotels.co.jp/ski/karuizawa/summer/>

©本件に関する報道各位からのお問合せ

軽井沢プリンスホテル 広報担当

TEL:0267-42-8115 FAX:0267-42-8118

<https://www.princehotels.co.jp/ski/karuizawa/summer/>